

# 再生產中



東鄉 潤

とある宇宙の星のお話です。その星では、多くの人々が互いを差別し憎み合っていました。



その結果、大勢の人々が傷つき殺されてしまいました。そこで人々は「差別は、許すことの出来ない悪であり、悪人がすることだ」と信じるようになりました。



大勢の人々が、差別という悪と戦うようになったのです。

教育の現場でも、差別は悪だと教えるようになりました。



差別しては絶対に、  
いけません。

女の価値は男の半分  
女は男の腕から作られた。  
女は生まれつき男に従う

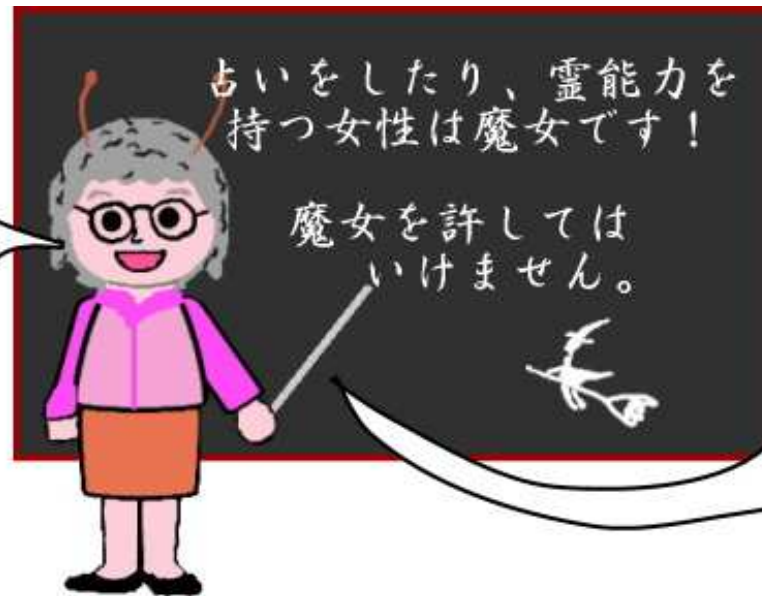
ところで、これは  
神様のお言葉です。

みんなで、差別に  
反対しましょう

同性愛者は神に  
呪われている  
同性愛者には罰を  
与えなければいけない

もちろん、これも  
神様の教えです。

差別は決して許されないことです！



いうまでもなく、神様の教えは、すべて正しいのです

差別は悪です！



私たちは差別をしません。  
悪魔が差別をするのです！！

この星の差別は、まだまだ続くようです。



## あとがき 一絵本「再生産中」

本絵本は差別をテーマとする絵本集の1作品です。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、ぜひ他の方にもご紹介いただきたくお願い致します。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。

また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

**[www.j15.org](http://www.j15.org)**

©Jun Togo 2013